

仙丈ヶ岳山行報告書

(山域) 南アルプス(仙丈ヶ岳)

(コース) 歌宿～北沢峠～仙丈ヶ岳～北沢峠～歌宿

(日時) 4月29日(金曜日)～5月1日(日曜日)

(天候) 4月29日:晴時々曇、30:晴、1日:曇時々晴

(参加者) CL:内堀、SL:狩野、食糧:小宮山、記録:田辺、岸野、江橋、井本、大森、室、宮城

(山行タイム) 下記個別山行報告参照

(日時) 4月29日(金)

(山行タイム) 戸台12:10～歌宿12:50～北沢峠14:50～北沢駒仙小屋テニ場15:00

メンバー10名、狩野さん、宮城さんの車2台に分乗して目的地へ向かう。今回は前夜泊ではないが朝早くに出発。4:20頃狩野さんに迎えに来ていただく。高速はGW初日とは思えない程非常にスムーズだったのだが、宮城車が来ない。連絡を取ると道が事故で渋滞してとのこと。最初のほうは狩野車との差はあまりなかったと思うが結果的に1時間ほどの差が付いた。途中サービスエリアで朝食を取ったりして休んだりしたが、狩野車はとりあえず一足先に目的地近くの諏訪ICを降り、近くのコンビニで昼食などの買い出しを行う。その後現地合流ということになり仙流荘の駐車場へ。11:30頃には到着できた。準備をしていると宮城車も合流。協同装備などの振り分けを行い、心配していたバスの出発時刻12:10に問題なく間に合った。GWということもあってやや混んでおり、マイクロバス2台が出発し歌宿まで30分ちょっとで到着。ここで軽く昼食を取り13:08より行動開始。

天気は雲が少しあったが青空が見え、そよ風が心地よい。北沢峠までは舗装路を歩く。歌宿から北沢峠まで標高差300m。6月中旬からは北沢峠までバスが通るようだ。雪がないので前倒しして北沢峠まで入ってもいいのに...などと思いつつ粛々と歩を進める。舗装路ということで私は冬用の登山靴はザックにしまい、トレランシューズで歩いたのでだいぶ楽だった。他の登山パーティは車輪付きのキャリアで荷物を運んでいる者もいた。北沢峠を通り過ぎ少し標高を下げて宿泊地である北沢駒仙小屋テニ場に到着。歌宿から歩き始めて2時間10分ほどかかった。

テントを設営して必要な荷物を取り出し、夜の準備をしつつ早々に飲みが始まる。いつものことだ。本日の夕食のメニューはきゅうりのサラダ、ご飯、アヒージョ、酢豚と大変豪華であった。お酒の量も普段よりはるかに多い。お酒が進むにつれ早くに就寝するメンバーは隣のテントへ移り、残りは猿談多めで20:30ごろまで盛り上がった。

■バス車内



■出発前の集合写真



(日時) 4月30日(土)

(山行タイム) 北沢駒仙小屋テン場 06:40~大滝の頭 5合目 09:05~小仙丈ヶ岳 10:25~仙丈ヶ岳
12:23~小仙丈ヶ岳 13:20~大滝の頭 5合目 14:20 北沢駒仙小屋テン場 15:42

翌日は 05:00 頃起床、朝は棒ラーメンとんこつ味。朝食をしっかりとった後、各自準備し出発。暫く樹林帯の中を進む。本日も天気は良さそうだ。2合目を過ぎ、3合目手前のあたりから道が凍ってる箇所が多くなり、アイゼンを装着。大滝の頭5合目を過ぎてしばらく行くと、樹林帯を抜けて森林限界となり見晴らしがきくようになる。毎度ちば山の山行に行く度に日焼け止め塗っても顔の皮がむけるほど日焼けしてしまうのだが、今回も快晴でまた顔が焼けそうだ。多少風があるが登りには涼しく、ちょうどいい。小仙丈の手前のきつくなってくる登りを一步一步進むと、左手からかなり雪解けが進んだ富士山が見えてくる。右手には中央アルプス、後ろは雪がほとんどない甲斐駒ヶ岳が間近に聳える。小仙丈ヶ岳を過ぎて仙丈への登りで少し稜線が細い箇所があるが、問題なく通過し、仙丈ヶ岳直下に荷物をデポして登頂した。頂上では写真を取ったり素晴らしい景色を堪能した後、安全で適切な傾斜地があったのでそこでピッケルワークのミニ講習会が行われた。

休憩後下山にかかる。来た道を下り、小仙丈下のハイマツの間に登りでも見たライチョウのつがい1組顔をのぞかせていた。そういえばこの時期立山室堂だとそこいらじゅう雪の上はライチョウの足跡だらけになるが、今回のルートではあまり足跡を見なかった。やはり南アルプスはライチョウの生息数が少ないのだろうか。乗鞍ではライチョウの保護に先鋭的に取り組んでいて、外敵から襲われる雛の生存率が低いため、監視員管理のもと、天敵から守るために夜はケージで飼育し生存率100%だったが、去年行った採卵しての人工飼育は、ほぼ死滅してしまったようだ。人間が保護に介入することは難しく、今後もライチョウの数が増える展望は見えないようだ。

下りは登りの半分の時間で降りることができた。テン場まで戻り、飲みつつ夕食の準備に取り掛かる。ちなみに昨日はだいぶお酒が進んで持ってきたお酒がだいぶ消費されたが、何と山小屋で本日の飲みのためハーフワインを7,8本購入し本日分が補充され準備万端となった。昨日とほぼ同じ展開だったが、今夜は昨夜より周囲にテントが増えたせいか疲れたせいなのか昨日に比べ音量は抑え気味だった。

■ 2合目で休憩中



■ 鋸岳



■ 急な傾斜を一歩一歩登る



■ 仙丈ヶ岳をバックに小仙丈岳にて



(日時) 5月1日(日)

(山行タイム) 北沢駒仙小屋テン場 07:00~歌宿 08:55~戸台 09:30

5時半ごろ起床。本日の朝食は棒ラーメンしょうゆ味だ。食事を済ませ各自撤収の準備に取り掛かる。最終日である本日は曇りで風が強い。改めて登頂のメインが昨日でベストタイミングだったと感じた。7時テン場を出発し、歌宿までの舗装路を初日とは逆に下り帰宅を開始する。2時間弱歩き、歌宿に到着。ちょうどバスと何組かの登山者グループがおり、我々が到着してすぐに出発となる。臨時便は一杯になると出てしまい増発はないそうなので、ラッキーであった。

バスに揺られふもとの駐車場まで戻り、そそくさと温泉へ向かう。『信州高遠さくらの湯』で汗を流し、11時には再び車に乗って帰路へ。高速は一部を除いてGWとは思えないほど空いており13時半過ぎに中央道石川パーキングに到着。昼食・清算を済まし、夕方前には帰宅することができた。

以上